

【考え・基礎知識】

幼児の発達と家族の役割について理解している。

【つながり】

幼児向けのおやつレシピを作成することを通して、幼児との関わり方について考えたり工夫したりすることができる。

【応用・ひろがり】

家庭生活の中で、幼児の発達と家族の役割についての課題を見付け、解決策を提案することができる。

◇ 学年 第2学年

◇ 題材名 ◇◇中わくわくレシピ！～幼児編～

～幼児の心身の発達に合った◇◇中わくわくレシピを作って届けよう！～

◇ 題材の目標 幼児の生活に関心を持ち、幼児の心身の発達に合ったおやつ作りを計画し、実践することができる。

◇ 題材の計画（全7時間）

学習活動	時数	指導上の留意事項
<p>課題の設定（1）</p> <p>○地域の保育所の保育士や保護者から、幼児の食に関わる悩み（1回に食べる量が少ない、好き嫌いが多いなど）や要望（もっと食事を楽しくとって欲しいなど）を聞き、課題意識を持って、食事の一部となる幼児のおやつレシピを考える。</p> <p>・幼児のおやつの実物を見て、既習事項から幼児の心身の発達と関連しているおやつの特徴を確認する。</p> <p>・生徒は、幼児のおやつについて、大切であると感じているが、「なぜ大切なのか」、「何が大切であるか」など、幼児の食生活の特徴について知っていることが少ないことに気付く。</p>	1	<p>★技術・家庭科（家庭分野）、総合的な学習の時間における幼児との触れ合いを通して、事前に幼児に対する興味・関心を高めておくことが大切である。</p> <p>★職場体験学習でお世話になった保育所から、家庭科で学んだことを生かして、幼児の生活をさらに豊かにするためのおやつを考えてほしいという依頼を受け、「期待に応えたい」「幼児のおやつ作りに挑戦してみたい」という気持ちを持たせることが考えられる。</p>
<p>情報の収集（1）</p> <p>○地域の保育所の保育士や保護者から依頼されたおやつについて資料を集め、調理内容を考える。</p> <p>・課題(見た目, 味, 食べやすさ, 手軽さ, 安全性〔アレルギーなど〕, 栄養など)を整理・分析し情報を収集する。</p> <p>・インターネットや本・資料を活用し、調べ学習をする。</p>	1	<p>○実際に保育所で出されているおやつや店で売り出されているおやつを比較させ、課題を整理・分析し情報の収集をさせる。</p>
<p>整理・分析（3）</p> <p>○幼児の心身の発達に合ったおやつの調理計画を各班で立てる。</p> <p>・情報収集した中から、幼児の心身の発達に合ったオリジナルレシピを考える。</p> <p>○幼児のおやつの調理実習を行い、おやつの自己評価・相互評価を行う。</p> <p>・他の班のおやつを試食し、他者評価表に記入する。</p> <p>○成果や課題を分析して、再度幼児のおやつレシピを練り直す。</p> <p>・班や学級、専門家の意見を基に、課題を見付け出す。</p>	1 1 1	<p>○オリジナルレシピを考える時は、個人思考から集団思考に広げ、まとめて発表するなどの協働的な学習の場を設定することで、個人の考えを深めさせる。</p> <p>★生徒が主体的に課題解決できるように次のような手立てを準備することが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が調理した幼児のおやつを試食した保育士からのアドバイスビデオ ・生徒が作成したレシピを見た保護者からのコメント ・おやつの本 など
<p>まとめ・創造・表現（1）</p> <p>○課題解決に向けて、一枚ポートフォリオを使い、実践して分かったことをおやつレシピとしてまとめる。</p> <p>・改善点をもとに、幼児の心身の発達に合った調理や幼児について調べたことをまとめる。</p>	1	<p>○これまでの学習の流れや成果や意識の変容に気付かせ、まとめさせる。</p> <p>★幼児の保護者や保育士の意見・反応を聞き、新たな視点や改善点を見付けさせることが大切である。</p>
<p>振り返り（1）</p> <p>○保育所におやつレシピを贈る。</p> <p>・おやつレシピを幼児の保護者や保育士に広める。</p> <p>・幼児の保護者や保育士の反応を受け取る。</p>	1	<p>○自分の家族又は幼児の生活を、よりよくしようとする意欲や態度を育てるようにする。</p>